

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

小さなことを究める 遠藤 功 (早稲田大学ビジネススクール教授、ローランド・ベルガー会長)

1. 思い起こせば日本型経営の衰退が叫ばれてから今日に至る十数年、わが国はスケールや腕力に憧れ、アメリカにばかり目を向けた。GEのジャック・ウェルチやIBMのルイス・ガイナーの著書がベストセラーになり、日本の電機メーカーの多くは皆、「われわれはGEにならねばならない」と考えた。しかし結局のところ、彼らは自らを失い、アメリカの超一流企業のベストプラクティスの模倣、もしくはそのフォローに終始したのである。そこで多くの日本企業は「無個性化」し、「色のない」会社になってしまった。
2. 今こそ、日本企業は緻密さ、きめ細やかさ、小さなことの積み上げを大切にしながら、足元の競争力を地道に高めていく経営＝「スモールマネジメント」に回帰すべきである。「スモール」だからこそ、同時に「深く」なければならない。小さいからこそ物事を掘り下げられ、徹底的に「究める」ことができる。一見小さなことのように思えても、とことんまで究めれば、他と異なる価値が生まれるのだ。そのような「究める」経営が、日本企業にとっては競争力の原点となってきた。
3. 「どんな小さなことや当たり前のことでも、やめずに続ければ、非凡になる」。これが花王の精神であり、彼らはその思いを持続してきた。前会長である後藤卓也氏は、「イノベティブな商品を」と空虚な号令を掛けるより、地道な改良努力を続け、その過程から新しい商品をつくるのが大切」と語った。

(参考:「Voice」2009年8月号)

経営者のための危機管理

新事業開拓で脱・下請け

1. 自動車用ネジメーカーだった東海部品工業(株)が、自動車依存からの脱却を目指して伊豆・天城に新工場を設立したのは1999年のことだった。ハードディスク駆動装置(HDD)向けの精密ネジをはじめ、人口歯根、骨接ぎ用などの医療用ネジを生産する。観光以外の産業がないと思われた伊豆こそ、精密部品などの本格的なものづくりに向くと判断したからだ。
2. 更に工場周辺の8000坪の土地を取得し、農業にも進出した。収穫時期の異なるイチゴ、マンゴー、トマト、イチヂクなどを育てるのは、リスク分散のためだ。酸味が強くて生食に向かない夏イチゴを添加物なしのジャムに加工して発売したところ、東京の高級スーパーで売れ切れになるほどの人気だ。(参考:「野村週報」:2009年5月25日号)

人事・労務について

経営理念に沿った行動を人事評価の対象

1. 成果主義型の制度を押しつけることなく、現場の実情の変化に対して素早く見直していく。こうした花王人事部の姿勢は、ほかの企業にとって模範となるだろう。なぜなら今、人事部の存在意義が問われているからだ。花王の人事部は、あくまで黒子に徹する人事部が成果主義を常に改善する。そして、会社の経営に参加しているという意識を持ち、業績目標の達成に力を尽くす新たな「会社人間」を育て続ける。
2. 成果主義を通して自分の仕事と会社の業績との関連が明確に示される。それが、社員の士気を向上させるだけでなく、会社への愛情、すなわち愛社精神の醸成をも促す。この効用を意識して今年4月から管理職の評価に新たな項目を追加した。花王独自の経営理念を社員に明示する目的で2004年に策定した「花王ウェイ」。この「花王ウェイ」に沿った行動を取れているかどうかを評価することにしたのだ。

(参考:「日経ビジネス」2009年5月11日号)

古典に学ぶ

謙遜について

「謙遜ということは、わが身を謹んで己れを正しく保つということが、その根本精神をなすのであります。つまりいかなる相手に対しても、常に相手との正しい関係において、自己を取り失わぬということです。すなわち、必要以上に出しやぶりもしなければ、同時にまた妙にへこへこもしないということでもあります」

(参考:森信三「修身教授録抄」:致知出版社)